



大利中だより

3号 文責：校長 新莊悌男

体育祭校長レポート①

「体育祭は当日だけではなく、練習のプロセスにこそ価値がある！」

5月14日(水)の朝、多くの生徒が運動場に集合しており、「今日は当日かな！」と思わせるほどの盛り上がりでした。その日から、体育祭に向かっての朝の練習が始まり、学校は一日中、体育祭モードになっています。

体育祭は、その当日だけ成功すればよいのではなく、それまでの練習が大切です。今年は、その練習期間が短かったなので、生徒は本当に大変です。

特に、ブロック演技では、隊形移動やリズムダンスを創作したり、組体操を取り入れたりして、全員で息を合わせたりしていますが、何度、繰り返しの練習をしたことか。

また、機敏な動きや土台として耐えることは、筋力がついてこそできるものです。その足りない分は、「気合い」を入れて頑張っています。そして、リーダーは本当に大変です。なぜなら、運営全般を任されているからです。うまくいかないときもあります。涙の場面もあります。まさに、青春真っ只中中です。そういった努力のお陰で、声の大きさ、動きの機敏さ、リーダーの機動力、そして、体育祭バージョンの校歌の歌声は、他の学校に誇れるほど高まってきました。大利中生徒がキラリと輝いているところです。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞ応援、賞賛していただきますようお願いいたします。

体育祭校長レポート②

「生徒は主役、

しかし、その裏にはこんな仕事がある！」

体育祭の成功は、生徒の頑張りだけではなく先生方の頑張りがあります。目立ちはしませんがなくてはならない仕事がたくさんあります。教師ですから、当たり前と言われそうですが、その仕事の細かさは計り知れないものがあります。例えば、種目の演技図を本当に細かく作成したり、生徒の安全性を確保するための多くの用具を準備したり、パネル作成では隅々まで指導したりしています。その他にも、会場係をはじめ、放送係、記録係、総務係、庶務係、招集係、審判係、救護係、警備係、音楽係、受付接待係等、前日までの仕事と当日の仕事があります。

目に見えない仕事を、朝早くから夜遅くまできめ細かく行ってくれている先生に心から感謝しています。

綱紀の厳正な保持について

新聞報道等ですすでにご存じの通り、春日市の小学校長の覚せい剤所持容疑による逮捕につきましては、保護者の皆様や地域の皆様に、ご心配をかけましたことに対しまして、教育に携わる者として心からお詫び申し上げます。

決してあってはならない今回の事件の重大性に鑑み、教職員一人一人が、薬物に関する正確な知識を習得することは当然のこととして、勤務時間の内外を問わず、教育公務員としての責任を自覚し、信用失墜行為の禁止、法令遵守義務など、公務員倫理の根本について改めて認識するよう、綱紀の保持に全力で努めて参ります。

「中学生に必要な大人の存在」

人間にとって14歳から15歳の頃は、魂が揺れる時期と言われています。そして、この時期の社会体験や人間関係づくりを通して、大人に近づいていきます。

しかし、中学生の時期は、モヤモヤ感があり、スッキリしない場面も数多くあることも現実です。親や先生から「もう中学生なんだから一人でやれるでしょう」と言われながら、もう一方では「まだ子どもなんだから、勝手な判断はダメ」と叱られることもあります。ですから、自分自身でも、自分が何者かわからなくなってしまう時期でもあります。実に中途半端な時代です。しかし感性は鋭い時期です。このような時期ですが、人間関係の持ち方や周囲の大人に対する態度、人生観の一部は、間違いなくこの頃に形成されます。だからこそ、この時期にはホンモノの大人と向き合わせなければなりません。それもできるだけ多様な大人のモデルに！

そういった意味から、保護者の皆様や地域の皆様とともに、中学生と対話をしたり、一緒に活動をしたりすることを行っていきたく考えています。まさに、コミュニティ・スクールとして行う挨拶運動や地域貢献活動等を推進していくことが求められていると感じています。

5・6月の行事

- | | |
|-----------|----------------|
| 5月 28日(水) | 中間テスト |
| 6月 3日(火) | 暴力団追放講座(全学年対象) |
| 6月 10日(火) | いじめ根絶運動(大利小へ) |
| 6月 12日(木) | いじめ根絶運動(下大利小へ) |
| 6月 17日(火) | 交通安全教室(1年生対象) |